

2021年度「専門特殊研究」研究会一覧（秋学期追加分）

文学学術院

2021年度実施の専門特殊研究の秋学期追加研究会は以下のとおりです。

「科目登録マニュアル」も確認してください。

なお、本内容は講義要項には掲載されていませんので、ご承知おきください。

【専門特殊研究について】

高度な原典購読や資料解読、数理系の問題演習など、少人数による上級者向けの研究会での成果を、学部での履修単位として認定するための科目です。

<履修について>

- 1科目2単位とし、合計8単位を上限に卒業必要単位に算入されます。
- 年間における登録制限単位数、科目数には算入しません。
- 同一の学期に2研究会（4単位）までの単位認定が可能です。
- 入学後2学期目から卒業見込み学期の前学期まで履修することができます。
- 本研究会は科目登録の結果通知には反映されません。

<成績について>

- 学期終了後、一定の条件を満たした研究会において、十分な成果を収めた学生についてのみ、単位の認定を行います。
- 評価は次学期の初めに行われ、実際に参加した次の学期の単位となります。
- 合格の場合、成績証明書には、「専門特殊研究（主副・担当教員名） 配当年度 配当学期）」と記載します。

★各研究会の内容に関するお問い合わせは、以下の担当教員まで直接お問い合わせください。

（以下、学期・曜日・時限・主題名五十音順）

秋学期	金	2時限	実施曜日・時限の特記事項
参加可能年次 2年以上	主題 フランス現代哲学(原典)講読		担当教員 西山 達也

研究概要

20世紀フランスを代表する哲学者エマニュエル・レヴィナス(1905-1995)のテキストをフランス語原典で講読する。レヴィナスはエトムント・フッサールによって創始された現象学がフランスに導入される際にきわめて重要な役割を果たした哲学者であるが、初期の思想から『全体性と無限』(1961年)に至るまでの思想変遷はこれまで十分に解明されてこなかった。近年、1940-50年代の草稿群が刊行されるなどして、レヴィナス哲学の新たな姿が明らかになりつつある。本研究では、レヴィナスが第二次世界大戦後に自らの哲学的マニフェストとして刊行した著作である『実存から実存者へ』を熟読することで、この哲学者の思考に入門するとともに、フランス語で哲学することの楽しみを共有したい。

使用文献

De l'existence à l'existant [1947], Vrin, Edition de poche, 2013

活動記録の内容、提出方法

参加者各自が作成した翻訳を持ち寄り、比較、検討、解釈する。授業への積極的な参加が単位習得の条件となる。

受講者選考方法

受講希望者は2021年9月30日(木)までに参加を希望するというメールを以下のアドレス宛に送付すること。メールアドレス:t-nishiyama@waseda.jp

備考

以上